

令和7年度 第2回大阪府立貝塚高等学校学校運営協議会【議事録】

【実施日】令和7年10月17日(金)14:00

【場 所】貝塚高等学校 メモリアルルーム

【出席者】後上様 奏様 佃様 西川様

川端(校長) 中村(教頭・記録) 西本(進路指導部長)

高木(生徒会指導部長) 倉橋(2年次主任)

1. 開 会
2. 会長挨拶

3. 議事及び授業見学

(1) 学校の現状について

校長より、資料を基に本校教職員の働き方の現状について説明

・本校は、総合学科で科目数が多く、教材研究に係る時間が多い。また、生徒指導面で丁寧な聞き取りや説諭を行うことに多くの時間がかかる。

・学校行事を精選していく。次年度は「A-のう祭」を発展的解消する予定で、その分の生徒の活躍の場を授業等を通じて確保していく。

Q1 超過勤務時間には始業前の時間も含まれているのか？

A1 はい。そのため、電話機能で対応している。勤務時間に合わせて留守電に切り替えるようにしている。

Q2 教材研究の時間を減らすことは授業力の低下につながるのか？

A2 良い指導案などを教員間で共有するなど対応している。

(2) 2年次生の様子について(修学旅行報告)

2年次主任より、修学旅行の状況報告

・生徒のアンケート結果では、「良かった」と回答した生徒が88%であり、「良くなかった」は0%であった。

・大阪の高校で初めてジャングルリアに行った。

・朝から行ったにもかかわらず、整理券の配付が終わってしまっていた。また気温が高く、集合時刻を早めて宿に戻った。

・レクリエーションの企画では、有志のグループが主体的に運営した。大きな成果があったと感じている。

Q3 修学旅行の費用はいかほどか？

A3 清算が済んでいないが、110,000円徴収しており、精算後に一部返金できる見込みである。平均して105,000円程度。

Q4 毎年沖縄に行っているのか？

A4 沖縄に決まてはいない。昨年度は同じ沖縄でも宮古島だった。

(3) 授業見学(6限目 14:25～15:15)

(4) 3年生の進路状況について

進路指導部長より報告

- ・大学は総合型選抜での受験が増加傾向、依然として文系学部が多い。また、看護・医療系をめざす生徒が多いのが本校の特徴
- ・専門学校は、こちらも医療分野が多い。
- ・看護・医療系への進学は例年30名程度。今年は看護・医療パック(選択科目)を選択している生徒が50名いる。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世代であることも一因と考えられる。

Q5 卒業後の後追い調査はしていますか？

A5 就職の場合、次の年度で企業訪問の際に様子を見たり、聞いたりすることはある。

Q6 学校斡旋就職とは具体的に何か？

A6 ハローワークの業務を担っているイメージ。求人には公開求人と指定校求人の2種類があり、業種は限定されるが指定校の方で就職する生徒が多い。

Q7 指定校の場合、希望が重なることはないのか？

A7 求人数が多いので、幸いそのようなことはあまりない。

(5) 生徒会活動報告

生徒会指導部長より報告

- ・文化祭が楽しみであるという声が多数

(6) その他

Q8 令和10年度からの入試はどのようなになるのか

A8 少し発表が遅れているようです。

次回予定 第3回 1月28日(水)15:30～16:50